

2022年6月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月3日

上場会社名 アクモス株式会社

上場取引所

東

コード番号 6888 URL <https://www.acmos.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 飯島 秀幸

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画管理部長 (氏名) 末國 真一

TEL 03-5217-3121

定時株主総会開催予定日 2022年9月27日

配当支払開始予定日

2022年9月28日

有価証券報告書提出予定日 2022年9月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年6月期の連結業績(2021年7月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | |
|----------|-------|-----|------|-----|------|-----|---------------------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年6月期 | 4,614 | 2.0 | 472 | 5.5 | 474 | 5.6 | 303 | 15.4 |
| 2021年6月期 | 4,526 | 7.3 | 500 | 3.3 | 502 | 4.8 | 358 | 7.1 |

(注) 包括利益 2022年6月期 278百万円 (28.1%) 2021年6月期 387百万円 (13.0%)

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産経常利益率 | 売上高営業利益率 |
|----------|------------|-----------------------|----------------|----------|----------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2022年6月期 | 31.08 | | 12.3 | 11.7 | 10.2 |
| 2021年6月期 | 36.88 | | 16.1 | 14.4 | 11.1 |

(参考) 持分法投資損益 2022年6月期 百万円 2021年6月期 百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年6月期 | 4,593 | 2,796 | 55.6 | 261.32 |
| 2021年6月期 | 3,498 | 2,441 | 68.0 | 243.76 |

(参考) 自己資本 2022年6月期 2,554百万円 2021年6月期 2,377百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動によるキャッシュ・フロー | 投資活動によるキャッシュ・フロー | 財務活動によるキャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物期末残高 |
|----------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2022年6月期 | 358 | 341 | 402 | 2,720 |
| 2021年6月期 | 290 | 26 | 203 | 2,300 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2021年6月期 | | 0.00 | | 11.00 | 11.00 | 107 | 29.8 | 4.5 |
| 2022年6月期 | | 0.00 | | 13.00 | 13.00 | 127 | 41.8 | 5.0 |
| 2023年6月期(予想) | | 0.00 | | 12.00 | 12.00 | | 32.2 | |

(注)2022年6月期配当の内訳 普通配当11円00銭 記念配当2円00銭(上場25周年記念)

3. 2023年6月期の連結業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|---------------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,700 | 23.5 | 570 | 20.6 | 560 | 18.0 | 365 | 20.2 | 37.31 |

(注) 1株当たり当期純利益は、期中に予定している株式報酬による自己株式の交付を考慮して計算しております。

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
 新規 1 社 (社名) 株式会社フィールドワン、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 以外の会計方針の変更 : 無
 会計上の見積りの変更 : 無
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|-------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 2022年6月期 | 10,215,400 株 | 2021年6月期 | 10,215,400 株 |
| 期末自己株式数 | 2022年6月期 | 439,343 株 | 2021年6月期 | 461,343 株 |
| 期中平均株式数 | 2022年6月期 | 9,766,415 株 | 2021年6月期 | 9,731,170 株 |

(参考)個別業績の概要

1. 2022年6月期の個別業績(2021年7月1日～2022年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|-------|-----|------|-----|------|-----|-------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年6月期 | 3,249 | 5.4 | 390 | 4.8 | 418 | 5.0 | 301 | 0.9 |
| 2021年6月期 | 3,083 | 7.3 | 372 | 0.6 | 398 | 0.9 | 298 | 10.1 |

| | 1株当たり当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 |
|----------|------------|-----------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年6月期 | 30.86 | |
| 2021年6月期 | 30.69 | |

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年6月期 | 3,666 | 2,296 | 62.6 | 234.87 |
| 2021年6月期 | 2,930 | 2,121 | 72.4 | 217.47 |

(参考) 自己資本 2022年6月期 2,296百万円 2021年6月期 2,121百万円

2. 2023年6月期の個別業績予想(2022年7月1日～2023年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-------|------|------|-----|-------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 3,600 | 10.8 | 400 | 4.5 | 280 | 7.1 | 28.62 |

(注) 1株当たり当期純利益は、期中に予定している株式報酬による自己株式の交付を考慮して計算しております。

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 4 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| (5) 継続企業の前提に関する重要事象等 | 5 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 5 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 6 |
| (1) 連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 8 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 10 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 13 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 13 |
| (会計方針の変更) | 13 |
| (表示方法の変更) | 13 |
| (連結損益計算書関係) | 14 |
| (連結包括利益計算書関係) | 14 |
| (連結株主資本等変動計算書関係) | 15 |
| (連結キャッシュ・フロー計算書関係) | 16 |
| (企業結合等関係) | 16 |
| (セグメント情報等) | 18 |
| (1株当たり情報) | 21 |
| (重要な後発事象) | 21 |
| 4. 個別財務諸表及び主な注記 | 22 |
| (1) 貸借対照表 | 22 |
| (2) 損益計算書 | 24 |
| (3) 株主資本等変動計算書 | 25 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日、以下「当期」という。)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染者数が増減を繰り返しており、加えてウクライナ情勢を背景とした資源価格の上昇や金融情勢の混乱などがあり、見通しは不透明となっています。

当社グループの事業を取り巻く環境は、未来志向のデジタルトランスフォーメーション(DX)の進展により、国、地方公共団体及び民間ではシステム更新や新サービス創出のための基盤構築などの取り組みが進められ、2021年9月にはデジタル庁が開設されるなどの動きもありました。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を契機としてテレワークが進み、教育分野などでのICTの活用機会も増え、ネットワーク保守やデータ流通における安全性の確保、サイバーセキュリティ強化の重要性が増しております。事業環境は比較的堅調ではあるものの、半導体関連部品の納期遅延によりサーバー等ハード類の納期が不安定となっておりプロジェクト全体に影響が発生する可能性がある他、IT関連投資は景気の見通しに影響を受けやすく、今後の動向は注視する必要があります。

当社グループは、2025年6月期までに取り組むべき事業の方向性を示す「長期ビジョン2025」を2016年に制定しております。当期を含む「中期経営計画Ⅱ(2019/07-2022/06)」では、テーマ「発展」を掲げ、専門分野を深耕し、新サービスでお客様を獲得する個性豊かなグッドカンパニーを目指すとともに、次の「中期経営計画Ⅲ(2022/07-2025/06)」のテーマ「進化」に繋がる体制を整備してまいりました。また、当社グループを取り巻く経営環境の変化を踏まえ、「社は」(「挑戦する心」)、「企業理念」及び「アクモスフィロソフィー」から構成される企業理念体系を新たに制定いたしました。新しい当社グループ理念体系は2022年7月1日から適用を開始しております。

当期は、M&Aにより当社グループに連結子会社が1社加わりました。お互いの事業の強みを生かし、特に首都圏地区でのネットワークの保守・構築関連業務の成長を目的として、2022年6月30日付で第三者保守サービスを営む株式会社フィールドワンを連結子会社といたしました。第三者保守サービスではメーカーの保守が終了したサーバー、ネットワーク機器の継続保守サービスを提供しております。また、SI・ソフトウェア開発分野の事業基盤の強化を目的として、2022年3月に連結子会社ACMOSソーシングサービス株式会社(2022年7月1日に社名を「アクモスメディカルズ株式会社」へ変更しております。)のシステムソリューション事業部の事業を、2022年7月1日付でアクモス株式会社へ譲渡する決定を行っております。

新型コロナウイルス感染症拡大防止への対策については、感染の状況に合わせ、感染者や濃厚接触者が出た場合の対応方針を適宜更新しつつ、引き続き社員へのマスク着用やうがい・手洗いの徹底、テレワークの活用、会議や研修等でのリモート対応などの取り組みを継続しております。また、研修の参加者や遠隔地への出張者には、独自にPCR検査を実施し、お客様や社員の感染リスクを低減するよう努めております。

当期の売上高は4,614百万円(前連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日、以下「前期」という。))は4,526百万円、前期比2.0%増)、営業利益は472百万円(前期は500百万円、前期比5.5%減)、経常利益474百万円(前期は502百万円、前期比5.6%減)となりました。株式会社フィールドワンの取得に伴い発生した仲介手数料等43百万円については、個別では子会社株式として計上しておりますが、連結上は費用計上されることから、当該費用を除いた実績では前期営業利益を上回る結果となっております。特別損益項目では、当社が保有していた投資有価証券の一部を売却したことによる投資有価証券売却益45百万円(特別利益)を計上しております。このほか、本社事務所フロアの移転による事務所移転費用3百万円、ASロカス株式会社が補助金を受けて開発した林業向けIoTシステムについて社外調達品の不具合解消の目処が立たないため、返金予定の補助金について助成金返還引当金繰入額3百万円、ソフトウェアとハードウェアの未償却残高について減損損失3百万円をそれぞれ特別損失として計上しております。また、上記の仲介手数料等の費用については税効果を認識しておらず税金費用が増加したことなどから、親会社株主に帰属する当期純利益は303百万円(前期は358百万円、前期比15.4%減)となりました。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)を当期首から適用しており、比較対象となる前期については収益の会計処理が異なっております。詳細については13ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記(5) 連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

各セグメント別の状況は以下のとおりです。

(ITソリューション事業)

1) SI・ソフトウェア開発分野では、主にシステムエンジニアリングサービス(SES)、消防防災システムや業務管理システムなど官公庁や民間企業のシステム開発請負、地理情報システム(GIS)を活用したシステム提供サー

ビスなどを行っております。2022年3月に富士通株式会社より戦略パートナーの認定を受け、富士通グループとのデジタル領域での連携強化を図っております。また当期はG I Sを活用したシステムなどの分野において前期中の新型コロナウイルス感染症の影響による営業活動の制限により期首仕掛案件が少なかったことや、消防や宇宙関連の案件が少ない年度に当たるため、営業展開や収益性の向上に取り組みました。2022年4月には連結子会社のA S ロカス株式会社が川崎市のG N S S(Global Navigation Satellite System: 全球測位衛星システム)測量による大規模盛土造成地の経過観察に係る共同研究において共同研究者の一員として契約を締結いたしました。

当期のS I・ソフトウェア開発分野の売上高は3,009百万円(前期比1.6%増)、営業利益285百万円となりました。

2) I T基盤・ネットワーク構築分野では、主に既存のお客様のネットワーク運用保守をはじめ、首都圏のネットワーク・セキュリティ関連業務や、自社開発サービスの標的型攻撃メール対応訓練ソリューション製品である、SYMPROBUS Targeted Mail Training(略称「TMT」)とSYMPROBUS CoTra Enterprise(略称「CoTra-Ent」)の営業開拓、医療系システム関連での運用業務を行っております。当期は地方自治体のGIGAスクール運営支援センター等官公庁のネットワーク関連を中心に受注が伸びた他、TMTやCoTra-Entの当期末の累計ライセンス数は21万件を超え、ネットワークなどの運用保守も堅調に推移しております。また新サービスである添付ファイル分離メールゲートウェイソリューション「SYMPROBUS File Atcala(シンプロバスファイルアトカラ)」を2022年6月にリリースし、新たな自社製品の提供を開始いたしました。2022年6月にはGoogle Cloud Platform Sellパートナー認定を取得し、お客様のニーズに合わせたサービス提供ができる体制を強化いたしました。当期のI T基盤・ネットワーク構築分野の売上高は1,280百万円(前期比1.8%増)、営業利益は229百万円となりました。

以上の結果、当期のI Tソリューション事業全体の売上高は4,289百万円(前期は4,218百万円、前期比1.7%増)、営業利益514百万円(前期は営業利益511百万円)となりました。

(I Tサービス事業)

I Tサービス事業では、新型コロナウイルス感染症の影響を注視する必要はあるものの、既存のお客様への深掘り営業活動により売上高が増加いたしました。アンケート調査の紙からWEB化の提案をすすめるなどコロナ禍での環境変化に合わせた営業活動に加え、WEBセミナーの開催やオンライン展示会への出展を積極的に行いました。また人財配置の適正化や効率化による資材経費の削減を行ったことで利益率が改善しております。

以上の結果、当期のI Tサービス事業の売上高は342百万円(前期は320百万円、前期比6.8%増)、営業利益37百万円(前期は営業利益26百万円)となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

2022年6月30日付で株式会社フィールドワンを連結子会社としたため、資産及び負債の項目が増加しております。

①資産

当期末の総資産は前期末から1,095百万円増加し、4,593百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加479百万円、受取手形及び売掛金の増加145百万円、商品の増加342百万円、前払費用の増加36百万円、保険積立金の増加35百万円、保証金及び敷金の増加42百万円、繰延税金資産の増加41百万円の一方、投資有価証券の減少40百万円があったことによるものです。

なお、増加した商品は主に株式会社フィールドワンの第三者保守事業においてお客様から契約頂いた機器の保守用部品として用意しているのものであります。

②負債

当期末の負債は前期末から739百万円増加し1,796百万円となりました。これは主に、買掛金の増加73百万円、短期借入金の増加20百万円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の増加491百万円、前受金の増加76百万円、未払法人税等の増加35百万円があったことによるものです。

③純資産

当期末の純資産は前期末から355百万円増加し2,796百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純利益303百万円、その他有価証券評価差額金の減少28百万円、配当金の支払い107百万円、株式会社フィールドワンを連結子会社としたことによる非支配株主持分の増加178百万円によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は2,720百万円となり、前期末より419百万円増加しました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは358百万円の収入(前期は290百万円の収入)となりました。これは主に、法人税等の支払額171百万円があった一方、税金等調整前当期純利益508百万円、仕入債務の増加17百万円、非資金項目である減価償却費42百万円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは341百万円の支出(前期は26百万円の支出)となりました。これは主に、子会社株式の取得による支出376百万円、投資有価証券の売却による収入69百万円、無形固定資産の取得による支出23百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは402百万円の収入(前期は203百万円の支出)となりました。これは主に、短期借入金の純増額20百万円、長期借入金の純増額491百万円、配当金の支払額106百万円があったことによるものです。

(注)キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2018年6月期 | 2019年6月期 | 2020年6月期 | 2021年6月期 | 2022年6月期 |
|----------------------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率(%) | 57.4 | 57.4 | 59.7 | 68.0 | 55.6 |
| 時価ベースの自己資本比率(%) | 153.0 | 112.0 | 170.2 | 112.6 | 74.4 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率(%) | 111.4 | 52.0 | 48.2 | 42.5 | 176.9 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍) | 89.7 | 180.9 | 224.2 | 165.7 | 297.6 |

(4) 今後の見通し

当社グループでは中期経営計画Ⅲ(2022/07-2025/06)の開始に合わせ、アクモスグループ理念体系を整備いたしました。社是を「挑戦する心」とし、企業理念を次のように定めました。「アクモスグループは社会の進歩・発展に貢献するため仕事を通して心の豊かさと技術の向上を追求しお客様に感動していただけるプロフェッショナルなサービスを提供して持続的な成長を実現します」。社是と企業理念に従ったアクモスフィロソフィー(考え方、価値観、行動規範)のもと、中期経営計画Ⅲに取り組んでまいります。

中期経営計画Ⅲではテーマを「進化」とし、挑戦し続けるグッドカンパニーとして収益の柱となる自社ブランド事業の創出などで外部環境に左右されない成長企業を目指します。中期経営計画Ⅲの最終事業年度である2025年6月期の経営目標は以下のとおりです。

| | |
|--------------|-------|
| 売上高 | 63億円 |
| 営業利益 | 7億円 |
| 株主資本利益率(ROE) | 15%以上 |
| 営業利益率 | 10%以上 |

2023年6月期では、中期経営計画Ⅲの1年目として「Good Business」「Good Members」「Good Value」の基本方針のもと、基幹事業と自社製品サービスによる新規顧客拡大、社員教育、売上の伸長による安定的な利益確保に取り組んでまいります。2023年6月期は売上高5,700百万円(対当期比23.5%増)、営業利益570百万円(対当期比20.6%増)、経常利益560百万円(対当期比18.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益365百万円(対当期比20.2%増)を見込んでおります。

2022年6月30日に株式会社フィールドワンを連結子会社としたことに加え、中期経営計画Ⅲでは事業種類ごとの収益性、成長性に基づきさらなる成長を実現するため、事業のサービス別のセグメントを経営資源の配分や業績評価の観点から見直しを行った結果、2023年6月期第1四半期よりセグメントを以下のとおり変更いたします。

新しい報告セグメントは、「ITソリューション」、「ITインフラ」、「ITサービス」の3つとなります。変更前のITソリューションから、IT基盤・ネットワーク構築分野を分離し、ITインフラといたします。また、アクモスメディカルズ株式会社は従来、ITソリューション事業に区分しておりましたが、事業譲渡による事業内容の変更に伴いITサービスに区分いたします。

| 変更前 | 変更後 | 主な事業内容 |
|-----------|-----------|--|
| ITソリューション | ITソリューション | SI・ソフトウェア開発、 消防防災ソリューション、GISソリューション |
| | ITインフラ | IT基盤・ネットワーク構築 クラウド関連サービス |
| ITサービス | ITサービス | 第三者保守サービス、病院情報システム維持管理 サーベイ・アンケート、ビジネスプロセス アウトソーシング(BPO) |

今後の見通しについては、新型コロナウイルス感染症の感染が継続し、ウクライナ情勢による世界経済へのリスクもあり、今後の経済環境、雇用情勢等先行きは不透明な状況です。当社グループでは為替変動による保守部品等の調達価格の変動や、半導体等電子製品のサプライチェーンへの影響によるハード製品の調達に遅れが生じるなどのリスクが想定されますが、将来における受注及びプロジェクト進捗への影響、新型コロナウイルス感染症への関係者の罹患といったリスクに対して影響を正確に把握することは困難であります。見通しにあたっては労働環境や営業活動の状況は、業績予想の時点で入手可能な情報のうち合理的と判断された内容のみを織り込んで2023年6月期の連結業績を予想するとともに、中期経営計画Ⅲを策定しております。なお、予想にあたって前提とした内容に大きな変化が生じた場合には改めて業績予想を見直し、開示すべき事象が生じた場合には速やかに開示いたします。また、当社グループでは中期経営計画の2年度目、3年度目については毎期業績予想を見直すローリング方式を採用しております。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者は主に国内の株主、債権者、取引先等であり、また連結財務諸表の期間比較性を考慮し日本基準により連結財務諸表を作成しております。将来の国際会計基準(IFRS)の適用につきましては、国内外の動向を踏まえつつ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年6月30日) | 当連結会計年度 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,349,416 | 2,828,989 |
| 受取手形及び売掛金 | 606,650 | 751,781 |
| 商品 | 7,037 | 349,243 |
| 仕掛品 | 58,605 | 49,392 |
| その他 | 46,875 | 81,474 |
| 貸倒引当金 | — | △825 |
| 流動資産合計 | 3,068,587 | 4,060,056 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 245,244 | 268,653 |
| 減価償却累計額 | △152,585 | △176,870 |
| 建物及び構築物（純額） | 92,659 | 91,783 |
| 工具、器具及び備品 | 167,289 | 212,678 |
| 減価償却累計額 | △143,783 | △181,623 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 23,505 | 31,055 |
| 土地 | 68,836 | 68,836 |
| 有形固定資産合計 | 185,001 | 191,674 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 7,666 | 20,453 |
| ソフトウェア | 39,106 | 34,827 |
| その他 | 2,914 | 3,200 |
| 無形固定資産合計 | 49,688 | 58,481 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 66,783 | 26,608 |
| 繰延税金資産 | 59,594 | 101,124 |
| その他 | 68,659 | 155,779 |
| 投資その他の資産合計 | 195,037 | 283,512 |
| 固定資産合計 | 429,727 | 533,668 |
| 資産合計 | 3,498,314 | 4,593,725 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年6月30日) | 当連結会計年度 (2022年6月30日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 119,405 | 192,616 |
| 短期借入金 | 115,000 | 135,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 8,560 | 62,400 |
| 未払金 | 183,600 | 185,234 |
| 未払費用 | 407,767 | 400,977 |
| 未払法人税等 | 98,353 | 134,291 |
| 賞与引当金 | 28,586 | 37,144 |
| その他 | 89,756 | 170,826 |
| 流動負債合計 | 1,051,029 | 1,318,490 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | — | 437,600 |
| その他 | 6,086 | 40,671 |
| 固定負債合計 | 6,086 | 478,271 |
| 負債合計 | 1,057,116 | 1,796,762 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 693,250 | 693,250 |
| 資本剰余金 | 1,201,533 | 1,208,265 |
| 利益剰余金 | 502,963 | 699,211 |
| 自己株式 | △48,226 | △45,827 |
| 株主資本合計 | 2,349,520 | 2,554,899 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 28,132 | △251 |
| その他の包括利益累計額合計 | 28,132 | △251 |
| 非支配株主持分 | 63,545 | 242,314 |
| 純資産合計 | 2,441,198 | 2,796,963 |
| 負債純資産合計 | 3,498,314 | 4,593,725 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 4,526,256 | 4,614,931 |
| 売上原価 | 2,866,575 | 2,857,532 |
| 売上総利益 | 1,659,680 | 1,757,398 |
| 販売費及び一般管理費 | ※1、※2 1,159,322 | ※1、※2 1,284,583 |
| 営業利益 | 500,358 | 472,815 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 1,635 | 1,356 |
| その他 | 2,179 | 2,029 |
| 営業外収益合計 | 3,814 | 3,386 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,752 | 1,205 |
| その他 | 0 | 569 |
| 営業外費用合計 | 1,752 | 1,775 |
| 経常利益 | 502,420 | 474,425 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 23 | 45,089 |
| 特別利益合計 | 23 | 45,089 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 3,702 |
| 事務所移転費用 | — | 3,802 |
| 助成金返還引当金繰入額 | — | 3,437 |
| その他 | — | 0 |
| 特別損失合計 | — | 10,942 |
| 税金等調整前当期純利益 | 502,443 | 508,572 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 152,547 | 207,548 |
| 過年度法人税等 | △20,126 | — |
| 法人税等調整額 | 3,567 | △6,000 |
| 法人税等合計 | 135,989 | 201,548 |
| 当期純利益 | 366,454 | 307,024 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 7,524 | 3,481 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 358,930 | 303,542 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 366,454 | 307,024 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 21,000 | △28,383 |
| その他の包括利益合計 | ※ 21,000 | ※ △28,383 |
| 包括利益 | 387,455 | 278,641 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 379,931 | 275,159 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 7,524 | 3,481 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益 累計額 | | 非支配 株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------------|---------|-----------|----------|---------|------------|----------------------|-----------------------|-------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本 合計 | その他 有価証券 評価差額金 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 693,250 | 1,176,282 | 250,727 | △53,933 | 2,066,326 | 7,131 | 7,131 | 59,008 | 2,132,466 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △106,694 | | △106,694 | | | | △106,694 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 358,930 | | 358,930 | | | | 358,930 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | 25,250 | | 5,707 | 30,958 | | | | 30,958 |
| 自己株式の取得 | | | | 0 | 0 | | | | 0 |
| 連結子会社の増加による 非支配株主持分の増減 | | | | | — | | | | — |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | — | 21,000 | 21,000 | 4,537 | 25,538 |
| 当期変動額合計 | — | 25,250 | 252,236 | 5,707 | 283,193 | 21,000 | 21,000 | 4,537 | 308,732 |
| 当期末残高 | 693,250 | 1,201,533 | 502,963 | △48,226 | 2,349,520 | 28,132 | 28,132 | 63,545 | 2,441,198 |

当連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | その他の包括利益 累計額 | | 非支配 株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------------|---------|-----------|----------|---------|------------|----------------------|-----------------------|-------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本 合計 | その他 有価証券 評価差額金 | その他の 包括利益 累計額合計 | | |
| 当期首残高 | 693,250 | 1,201,533 | 502,963 | △48,226 | 2,349,520 | 28,132 | 28,132 | 63,545 | 2,441,198 |
| 当期変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △107,294 | | △107,294 | | | | △107,294 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | | | 303,542 | | 303,542 | | | | 303,542 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | 6,731 | | 2,399 | 9,131 | | | | 9,131 |
| 自己株式の取得 | | | | | — | | | | — |
| 連結子会社の増加による 非支配株主持分の増減 | | | | | — | | | 177,985 | 177,985 |
| 株主資本以外の項目の 当期変動額(純額) | | | | | — | △28,383 | △28,383 | 783 | △27,599 |
| 当期変動額合計 | — | 6,731 | 196,248 | 2,399 | 205,379 | △28,383 | △28,383 | 178,768 | 355,764 |
| 当期末残高 | 693,250 | 1,208,265 | 699,211 | △45,827 | 2,554,899 | △251 | △251 | 242,314 | 2,796,963 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日) |
|--------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 502,443 | 508,572 |
| 減価償却費 | 47,725 | 42,477 |
| のれん償却額 | 4,000 | 4,000 |
| 減損損失 | — | 3,702 |
| 助成金返還引当金繰入額 | — | 3,437 |
| 株式報酬費用 | 9,886 | 9,131 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △2,033 | △1,167 |
| 受注損失引当金の増減額 (△は減少) | △1,963 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △1,635 | △1,356 |
| 支払利息 | 1,752 | 1,205 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 7,974 | 161 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | 21,246 | 7,928 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △47,639 | 17,137 |
| その他 | △86,497 | △75,136 |
| 小計 | 455,260 | 520,093 |
| 利息及び配当金の受取額 | 790 | 1,356 |
| 利息の支払額 | △1,722 | △1,670 |
| 法人税等の支払額 | △194,043 | △171,715 |
| 法人税等の還付額 | 30,194 | 10,827 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 290,479 | 358,891 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の純増減額 (△は増加) | 0 | 0 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △12,177 | △7,427 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △14,413 | △23,000 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △341 | △9,948 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 | — | △376,292 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 69,122 |
| その他 | 502 | 6,053 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △26,430 | △341,494 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △45,000 | 20,000 |
| 長期借入れによる収入 | — | 500,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | △49,920 | △8,560 |
| 配当金の支払額 | △105,743 | △106,566 |
| その他 | △2,987 | △2,698 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △203,651 | 402,175 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 60,397 | 419,572 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,240,602 | 2,300,999 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | ※ 2,300,999 | ※ 2,720,572 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これにより、これまで受注制作のソフトウェアに係る契約のうち、開発の進捗部分について成果の確実性が認められる契約については工事進行基準を、その他の契約については工事完成基準を適用しておりましたが、少額もしくはごく短期の契約を除き、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高への影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「その他」に含めていた「投資有価証券売却益」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に表示していた2,202千円は、「特別利益」の「投資有価証券売却益」23千円、「営業外収益」の「その他」2,179千円として組み替えております。

(連結損益計算書関係)

※1 販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は以下のとおりです。

| | 前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日) |
|--------|--|--|
| 給料手当 | 394,774千円 | 414,798千円 |
| 退職給付費用 | 25,594千円 | 26,268千円 |
| のれん償却費 | 4,000千円 | 4,000千円 |

※2 一般管理費及び当期製造費用に含まれる研究開発費は以下のとおりです。

| | 前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日) |
|---------------|--|--|
| 一般管理費に含まれるもの | 17,254千円 | 31,536千円 |
| 当期製造費用に含まれるもの | — 千円 | — 千円 |

(連結包括利益計算書関係)

※ その他の包括利益に係る組替調整額及び税効果額

| | 前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日) |
|---------------|--|--|
| その他有価証券評価差額金: | | |
| 当期発生額 | 30,292千円 | 4,179千円 |
| 組替調整額 | △23千円 | △45,089千円 |
| 税効果調整額 | 30,269千円 | △40,910千円 |
| 税効果額 | △9,268千円 | 12,526千円 |
| その他有価証券評価差額金 | 21,000千円 | △28,383千円 |
| その他包括利益合計 | 21,000千円 | △28,383千円 |

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

| 株式の種類 | 当連結会計年度期首 | 増加 | 減少 | 当連結会計年度末 |
|---------|------------|----|----|------------|
| 普通株式(株) | 10,215,400 | — | — | 10,215,400 |

2. 自己株式の種類及び株式数に関する事項

| 株式の種類 | 当連結会計年度期首 | 増加 | 減少 | 当連結会計年度末 |
|---------|-----------|----|--------|----------|
| 普通株式(株) | 515,942 | 1 | 54,600 | 461,343 |

(変動事由の概要)

譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分による減少 54,600株

単元未満株式の買取りによる増加 1株

3. 新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額(千円) | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|------------|-------------|------------|------------|
| 2020年9月24日 定時株主総会 | 普通株式 | 106,694 | 11.00 | 2020年6月30日 | 2020年9月25日 |

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額(千円) | 配当の原資 | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|------------|-------|-------------|------------|------------|
| 2021年9月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 107,294 | 利益剰余金 | 11.00 | 2021年6月30日 | 2021年9月29日 |

当連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

| 株式の種類 | 当連結会計年度期首 | 増加 | 減少 | 当連結会計年度末 |
|---------|------------|----|----|------------|
| 普通株式(株) | 10,215,400 | — | — | 10,215,400 |

2. 自己株式の種類及び株式数に関する事項

| 株式の種類 | 当連結会計年度期首 | 増加 | 減少 | 当連結会計年度末 |
|---------|-----------|-------|--------|----------|
| 普通株式(株) | 461,343 | 1,000 | 23,000 | 439,343 |

(変動事由の概要)

譲渡制限付株式報酬として処分した自己株式の無償取得による増加 1,000株

譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分による減少 23,000株

3. 新株予約権に関する事項

該当事項はありません。

4. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額(千円) | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|------------|-------------|------------|------------|
| 2021年9月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 107,294 | 11.00 | 2021年6月30日 | 2021年9月29日 |

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるもの

| (決議) | 株式の種類 | 配当金の総額(千円) | 配当の原資 | 1株当たり配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|------------|-------|-------------|------------|------------|
| 2022年9月27日 定時株主総会 | 普通株式 | 127,088 | 利益剰余金 | 13.00 | 2022年6月30日 | 2022年9月28日 |

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

| | 前連結会計年度 | 当連結会計年度 |
|------------------|-------------------------------|-------------------------------|
| | (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日) | (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日) |
| 現金及び預金勘定 | 2,349,416千円 | 2,828,989千円 |
| 預入期間が3ヶ月を超える定期預金 | △48,417千円 | △108,417千円 |
| 現金及び現金同等物 | 2,300,999千円 | 2,720,572千円 |

(企業結合等関係)

取得による企業結合

当社は、2022年6月16日開催の取締役会において、2022年6月30日付で株式会社フィールドワンの株式を取得して連結子会社化することを決議いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社フィールドワン

事業の内容 ハードウェア保守（第三者保守、システム構築）

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、「輝くICTサービスで社会の向上に貢献する」という長期ビジョン2025を掲げ、独立系のICT企業として、ITソリューション事業とITサービス事業の領域において、公共分野からメーカーまで幅広いお客様に対して、グループそれぞれの事業の専門性を活かしたソリューション&サービスを提供してまいりました。

株式会社フィールドワンは、1982年の創業以来、製品やシステムのメーカーやベンダーが保守サービス等のサポートを終了したEOSL (End of Service Life) 製品の保守サービスのほか、修理に必要なパーツの供給を行う第三者保守事業を営んでおり、Stromasys社のCharonによるレガシーシステムの仮想化やシステム更新等の構築分野での業務にも取り組んでおります。これらの事業を通じ、長年にわたり大手企業を中心に多くのお客様に保守サービスを提供し、お客様企業のサーバー機器等の安定稼働を実現しています。

今後、株式会社フィールドワンが当社グループに加わることで、お互いの事業の強みを生かし、ITコスト低減と安定稼働を両立する第三者保守サービスの活用により、製品やシステムのライフサイクルの延長を図り、「環境問題に配慮したい」というお客様ニーズに対応し、エコロジーなIT製品・システムの活用を推進してまいります。また、戦略的なIT投資を求めるお客様に最適なITソリューションを提供することを通じて、お客様の多様なニーズにお応えし、特に首都圏地区でのネットワーク保守・構築関連業務の成長に取り組んでまいります。

(3) 企業結合日

2022年6月30日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後の企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

80%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 連結財務諸表に含まれている被取得企業の業績の期間

被取得企業の決算日である3月31日現在の貸借対照表のみを連結しているため、当連結会計年度に係る連結損益計算書については被取得企業の業績は含まれておりません。

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得価額につきましては、契約上の規定により非開示とさせていただきますが、適切なデューデリジェンスの結果に基づき、双方協議のうえ金額を決定しております。

4. 主要な取得関連費用の内訳及び金額

アドバイザー費用等 43百万円

5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれんの金額

16百万円

(2) 発生原因

取得原価が企業結合時における時価純資産額を上回ったため、その差額をのれんとして認識しております。

(3) 償却方法及び償却期間

10年間にわたる均等償却

6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

| | |
|------|----------|
| 流動資産 | 941百万円 |
| 固定資産 | 149百万円 |
| 資産合計 | 1,090百万円 |
| 流動負債 | 167百万円 |
| 固定負債 | 33百万円 |
| 負債合計 | 201百万円 |

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社の事業はサービス別のセグメントから構成されており、「ITソリューション事業」及び「ITサービス事業」の2つを報告セグメントとしております。

「ITソリューション事業」は、システムインテグレーション、ソフトウェア開発、保守及び運用、IT基盤・ネットワーク構築並びにこれらのコンサルティングを行っております。「ITサービス事業」はコンサルティング、アンケート等の情報処理サービス、事務局業務などを請負うビジネスプロセスアウトソーシング(BPO)を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は営業利益をベースとした数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額(注)1 | 連結財務諸表計上額 |
|--------------------|-------------|----------|-----------|---------|-----------|
| | ITソリューション事業 | ITサービス事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,203,942 | 320,013 | 4,523,956 | 2,300 | 4,526,256 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 14,879 | 286 | 15,166 | △15,166 | — |
| 計 | 4,218,822 | 320,299 | 4,539,122 | △12,866 | 4,526,256 |
| セグメント利益 | 511,806 | 26,158 | 537,965 | △37,607 | 500,358 |
| セグメント資産 | 3,224,258 | 295,982 | 3,520,241 | △21,926 | 3,498,314 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 39,044 | 8,226 | 47,271 | 453 | 47,725 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 26,285 | 306 | 26,591 | — | 26,591 |

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

1. セグメント利益の調整額△37,607千円には、報告セグメントに配分していない全社費用△37,261千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の上場維持に係る費用等であります。
2. セグメント資産の調整額△21,926千円には、セグメント間取引消去△23,673千円、報告セグメントに配分していない全社資産3,044千円、その他の調整額△1,297千円を含んでおります。
3. 減価償却費の調整額453千円は、全社資産に係る減価償却費等であります。

当連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額(注)1 | 連結財務諸表計上額 |
|--------------------|-------------|----------|-----------|-----------|---------|-----------|
| | ITソリューション事業 | ITサービス事業 | その他事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 顧客との契約から生じる収益 | 4,273,021 | 341,909 | — | 4,614,931 | — | 4,614,931 |
| 外部顧客への売上高 | 4,273,021 | 341,909 | — | 4,614,931 | — | 4,614,931 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 16,768 | 310 | — | 17,078 | △17,078 | — |
| 計 | 4,289,790 | 342,219 | — | 4,632,009 | △17,078 | 4,614,931 |
| セグメント利益 | 514,992 | 37,653 | — | 552,646 | △79,831 | 472,815 |
| セグメント資産 | 3,183,282 | 322,232 | 1,090,958 | 4,596,473 | △2,748 | 4,593,725 |
| その他の項目 | | | | | | |
| 減価償却費 | 37,130 | 4,885 | — | 42,015 | 461 | 42,477 |
| 減損損失 | 3,702 | — | — | 3,702 | — | 3,702 |
| 有形固定資産及び無形固定資産の増加額 | 26,489 | 2,816 | — | 29,306 | 1,122 | 30,428 |

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

1. セグメント利益の調整額△79,831千円には、子会社株式の取得関連費用△43,259千円、報告セグメントに配分していない全社費用△37,976千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社本社の上場維持に係る費用等であります。
2. セグメント資産の調整額△2,748千円には、セグメント間取引消去△22,766千円、報告セグメントに配分していない全社資産3,324千円、その他の調整額16,693千円を含んでおります。
3. 減価償却費の調整額461千円は、全社資産に係る減価償却費等であります。
4. 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,122千円は、本社の設備投資額であります。
5. その他事業は2022年6月30日付で連結子会社化した株式会社フィールドワンであります。

(関連情報)

前連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|-----------|---------|--------------|
| 日立建機株式会社 | 454,035 | I Tソリューション事業 |

当連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報の中で同様の情報が開示されているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載はありません。

(報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報)

前連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

(報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報)

前連結会計年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位:千円)

| | I Tソリューション事業 | I Tサービス事業 | 全社・消去 | 合計 |
|-------|--------------|-----------|-------|-------|
| 当期償却額 | 4,000 | — | — | 4,000 |
| 当期末残高 | 7,666 | — | — | 7,666 |

当連結会計年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位:千円)

| | I Tソリューション事業 | I Tサービス事業 | その他事業 | 全社・消去 | 合計 |
|-------|--------------|-----------|--------|-------|--------|
| 当期償却額 | 4,000 | — | — | — | 4,000 |
| 当期末残高 | 3,666 | — | 16,787 | — | 20,453 |

(報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日) |
|---------------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 243円 76銭 | 261円 32銭 |
| 1株当たり当期純利益金額 | 36円 88銭 | 31円 08銭 |
| 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 | — | — |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日) |
|----------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益金額(千円) | 358,930 | 303,542 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(千円) | 358,930 | 303,542 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 9,731,170 | 9,766,415 |

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日) | 当連結会計年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日) |
|------------------------------------|--|--|
| 純資産の部の合計額(千円) | 2,441,198 | 2,796,963 |
| 純資産の部の合計額から控除する金額(千円) | 63,545 | 242,314 |
| (うち新株予約権(千円)) | — | — |
| (うち非支配株主持分(千円)) | (63,545) | (242,314) |
| 期末の純資産額(千円) | 2,377,652 | 2,554,648 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株) | 9,754,057 | 9,776,057 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2021年6月30日) | 当事業年度 (2022年6月30日) |
|-------------|-----------------------|-----------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,609,798 | 1,643,305 |
| 売掛金 | 467,950 | 464,840 |
| 仕掛品 | 27,920 | 19,148 |
| 前払費用 | 22,150 | 24,201 |
| その他 | 27,988 | 28,384 |
| 流動資産合計 | 2,155,807 | 2,179,880 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 82,821 | 78,044 |
| 構築物 | 4,148 | 3,700 |
| 工具、器具及び備品 | 7,244 | 7,050 |
| 土地 | 68,836 | 68,836 |
| 有形固定資産合計 | 163,050 | 157,631 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 23,215 | 18,550 |
| その他 | 553 | 553 |
| 無形固定資産合計 | 23,769 | 19,104 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 66,783 | 1,423 |
| 繰延税金資産 | 50,324 | 65,817 |
| 関係会社株式 | 415,812 | 1,187,799 |
| その他 | 54,848 | 55,117 |
| 投資その他の資産合計 | 587,769 | 1,310,157 |
| 固定資産合計 | 774,589 | 1,486,893 |
| 資産合計 | 2,930,396 | 3,666,774 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (2021年6月30日) | 当事業年度 (2022年6月30日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 82,753 | 99,588 |
| 短期借入金 | 105,000 | 125,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 62,400 |
| 未払金 | 87,601 | 93,870 |
| 未払費用 | 306,485 | 302,724 |
| 未払法人税等 | 91,199 | 118,082 |
| 未払消費税等 | 45,275 | 38,502 |
| 前受金 | 58,429 | 58,923 |
| 賞与引当金 | 18,796 | 18,662 |
| その他 | 7,534 | 8,243 |
| 流動負債合計 | 803,074 | 925,998 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | — | 437,600 |
| その他 | 6,086 | 7,069 |
| 固定負債合計 | 6,086 | 444,669 |
| 負債合計 | 809,160 | 1,370,668 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 693,250 | 693,250 |
| 資本剰余金 | | |
| 資本準備金 | 531,658 | 531,658 |
| その他資本剰余金 | 79,162 | 85,894 |
| 資本剰余金合計 | 610,820 | 617,552 |
| 利益剰余金 | | |
| その他利益剰余金 | | |
| 繰越利益剰余金 | 837,258 | 1,031,382 |
| 利益剰余金合計 | 837,258 | 1,031,382 |
| 自己株式 | △48,226 | △45,827 |
| 株主資本合計 | 2,093,103 | 2,296,357 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 28,132 | △251 |
| 評価・換算差額等合計 | 28,132 | △251 |
| 純資産合計 | 2,121,235 | 2,296,106 |
| 負債純資産合計 | 2,930,396 | 3,666,774 |

(2) 損益計算書

(単位：千円)

| | 前事業年度 (自 2020年7月1日 至 2021年6月30日) | 当事業年度 (自 2021年7月1日 至 2022年6月30日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 3,083,135 | 3,249,369 |
| 売上原価 | 1,830,158 | 1,913,267 |
| 売上総利益 | 1,252,976 | 1,336,101 |
| 販売費及び一般管理費 | 880,651 | 945,826 |
| 営業利益 | 372,324 | 390,274 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 26,640 | 28,920 |
| その他 | 1,037 | 995 |
| 営業外収益合計 | 27,677 | 29,916 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,186 | 886 |
| その他 | 0 | 558 |
| 営業外費用合計 | 1,186 | 1,445 |
| 経常利益 | 398,816 | 418,745 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 23 | 45,089 |
| 特別利益合計 | 23 | 45,089 |
| 特別損失 | | |
| 事務所移転費用 | — | 3,802 |
| 特別損失合計 | — | 3,802 |
| 税引前当期純利益 | 398,839 | 460,032 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 121,804 | 161,580 |
| 過年度法人税等 | △18,402 | — |
| 法人税等調整額 | △3,198 | △2,965 |
| 法人税等合計 | 100,203 | 158,614 |
| 当期純利益 | 298,636 | 301,418 |

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2020年7月1日 至 2021年6月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|----------|---------|---------------------|----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 |
| 当期首残高 | 693,250 | 531,658 | 53,911 | 585,570 | 645,316 | 645,316 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △106,694 | △106,694 |
| 当期純利益 | | | | | 298,636 | 298,636 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | | 25,250 | 25,250 | | |
| 自己株式の取得 | | | | | | |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 25,250 | 25,250 | 191,942 | 191,942 |
| 当期末残高 | 693,250 | 531,658 | 79,162 | 610,820 | 837,258 | 837,258 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|-------------------------|---------|-----------|------------------|----------------|-----------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評 価差額金 | 評価・換算差額等 合計 | |
| 当期首残高 | △53,933 | 1,870,202 | 7,131 | 7,131 | 1,877,334 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | △106,694 | | | △106,694 |
| 当期純利益 | | 298,636 | | | 298,636 |
| 譲渡制限付株式報酬 | 5,707 | 30,958 | | | 30,958 |
| 自己株式の取得 | 0 | 0 | | | 0 |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | — | 21,000 | 21,000 | 21,000 |
| 当期変動額合計 | 5,707 | 222,900 | 21,000 | 21,000 | 243,901 |
| 当期末残高 | △48,226 | 2,093,103 | 28,132 | 28,132 | 2,121,235 |

当事業年度(自 2021年7月1日 至 2022年6月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | | |
|-------------------------|---------|---------|----------|---------|---------------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | | | 利益剰余金 | |
| | | 資本準備金 | その他資本剰余金 | 資本剰余金合計 | その他利益剰余金 繰越利益剰余金 | 利益剰余金合計 |
| 当期首残高 | 693,250 | 531,658 | 79,162 | 610,820 | 837,258 | 837,258 |
| 当期変動額 | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △107,294 | △107,294 |
| 当期純利益 | | | | | 301,418 | 301,418 |
| 譲渡制限付株式報酬 | | | 6,731 | 6,731 | | |
| 自己株式の取得 | | | | | | |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 6,731 | 6,731 | 194,123 | 194,123 |
| 当期末残高 | 693,250 | 531,658 | 85,894 | 617,552 | 1,031,382 | 1,031,382 |

| | 株主資本 | | 評価・換算差額等 | | 純資産合計 |
|-------------------------|---------|-----------|------------------|----------------|-----------|
| | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券評 価差額金 | 評価・換算差額等 合計 | |
| 当期首残高 | △48,226 | 2,093,103 | 28,132 | 28,132 | 2,121,235 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | △107,294 | | | △107,294 |
| 当期純利益 | | 301,418 | | | 301,418 |
| 譲渡制限付株式報酬 | 2,399 | 9,131 | | | 9,131 |
| 自己株式の取得 | | — | | | — |
| 株主資本以外の項目 の当期変動額(純額) | | — | △28,383 | △28,383 | △28,383 |
| 当期変動額合計 | 2,399 | 203,254 | △28,383 | △28,383 | 174,871 |
| 当期末残高 | △45,827 | 2,296,357 | △251 | △251 | 2,296,106 |